

# 星の夢百聞

第222号

発行日 2024年 8月 1日  
発行 株式会社 おいらーく  
札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40  
発行人 星野 二三江



## 訪問介護事業所 **リ・ボン** **Rebbon** <再生>

(白鳥統括)

皆さん、暑い日が続きますが、体調崩していませんか？ そうめんばかり食べてないですか？夏バテ防止に、お肉、お魚もしっかり食べてください。さて私、白鳥は5月4日からCOCO東苗穂に異動になりました。COCO志番館に昨年5月に異動になり、ホーム長職も10ヶ月と短い間となりました。その間は、お祭りや健康カフェ、ごみ拾い、花壇の手入れ、草取りと、皆さんと一緒に楽しめてとても有意義な日々をすごさせて頂き感謝の気持ちでいっぱいです。

初めて介護の世界に足を踏み入れた時に、訪問介護を5年させていたいただきました。お家を訪問しては、お料理をしたり入浴を見守りしたり、掃除、洗濯と多岐にわたり支援させてもらいました。いろいろな性格の方、支援方法、住宅の作り、環境と、ほぼ一人暮らしの方が多く、その重要性を感じつつも大変さが勝っていたように思います。

おいらーくに平成23年に入社し、小規模多機能型居宅介護事業所を13年やってきましたが、在宅を支える意味合いは全く別物で、異動してまだ2か月足らずですが、その重要性をまじまじと感じさせる案件がいくつもあります。高齢者住宅という箱の中では計り知れない、皆様の生活が地域には、数多く存在し、そこを支えていくにはまだまだ、経験が足りず、さらに勉強を重ねていかなければならないと実感した次第です。今後の目標としては、7月から虹さんのご利用者様がリボンに移行になったことで、ご利用者様が訪問だけで100名近くになります。

副所長としていくばから、道下さんが異動で入ってくれましたので、一緒に事業所を盛り上げ、地域を支え、中も外も一括して相談から新規まで受けられるような体制を築いていけたらと思っております。そして、職員さんも6名虹さんからおいらーくに入社して頂き、おいらーくの仲間として勤務してくれています。訪問介護の重要性を認識しつつ、ご利用者様の心の支えにもなっておられる、そんな方々と一緒にお仕事が出来て、地域貢献の底辺を支えられる役割を全うできるように、頑張っていけたらと思っております。皆さん、どうか応援を宜しくお願いします。



### 頼もしい6名の仲間です!

### ヘルプステーション虹から移行の職員さん達



＼ビックボス /  
柏谷 清子さん



＼ラウンドプレイヤー /  
林 やよいさん



＼奇跡の55歳 /  
五十嵐 りかさん



＼the 仕事の鬼 /  
北原 教子さん



＼気配り上手 /  
山谷 真弓さん



＼ミセス ホシザワ /  
中川 明美さん

白鳥統括よりお声がかかり、全くの未経験の訪問介護でアタフタしている道下です。小規模多機能・看多機を10年経験し、このたびヘルプステーションリ・ボンへ異動となりました。

副所長、サービスマン提供責任者としての重圧、プレッシャーも強く、着任前は不安で押しつぶされそうでしたが、旧ヘルプステーション虹から残って下さったメンバーやリ・ボンのスタッフの暖かい支えが多く、悪銭苦闘しながらも頑張っている日々です。

在宅介護のサービスマン提供の難しさを痛感しながらも、スタッフの方々のプロフェッショナルな仕事ぶりに多くの利用者様が「〇〇さん待っていたよ!」と笑顔で迎える姿には、今まで経験した以外の介護の場面を目にし感動し勉強している最中です。

大きくなったリ・ボンを円滑スムーズにサービスマン提供できるよう又、更なるより良いサービスマンの実現するべく頑張ります! (道下副所長)





# 訪問看護ステーション おいらーく

## 始動!

令和 6 年 7 月 1 日から、みなえーる 2 階に、訪問看護ステーションおいらーくが開設しました。住み慣れた環境で生活を安心して送ることができるように、寄り添う気持ちを大切に、訪問看護をおこなっていきたくと思います。チームワークもバッチリ、働きやすい職場作りも目指していきます。これからもよろしくお願い致します。(富所)



↑ 訪問看護ステーションや居宅介護事業所の場所と地域を知るために 2 人で東区の地図を作製しました!

新体制  
スタート!

看護小規模多機能型居宅介護事業所  
えくぼ元町

## 新管理者の抱負

7 月よりえくぼ元町の所長になりました。副所長をしていた時よりも、責任も増え日々勉強だと思いながら頑張っています。現場勤務が主だった為、家族様ともこれから関係性を少しずつ作っていかねばと思っています。所長になってから大変な部分もありますが、えくぼ元町ではありがたい事に職員みんなが色々助けてくれ、毎日とてもありがたく感じています。これからも私自身、甘えられる部分は甘えさせてもらいながら、自分なりに所長として成長し職員や利用者の皆様に還元していければと思っています。新たな体制になりましたが、この『チーム力』を大切にしながら『新生えくぼ元町』を今後とも宜しくお願い致します。



新所長：山本

7 月から副所長になりました。おいらーくでの勤続年数は長いのですが、えくぼ元町では令和 4 年 3 月から計画作成担当者として勤務させて頂いています。7 月から山本所長以下新体制となりました。皆で協力し合いながら、より良い『えくぼ元町』を目指し頑張りたいと思っています。一段と責任のある立場となりましたが、ご利用者様ご家族様に信頼して頂ける存在になれるように努めて参りますので、今後とも宜しくお願い致します。



新副所長：高津

7 月から介護リーダーになりました。病院経験が長く、初めての介護事業所、不安と葛藤がありながらの 2 年弱。えくぼ元町の先輩方に支えられここまで来れ、日々、感謝の連続です。リーダーになったからには…!! という力の入れ方ではなく、今まで教えて頂いた事をいかしながら、日々勉強。の精神で所長、副所長、えくぼ元町みんな笑顔の多い、皆様が過ごしやすい、場所を目指していけたらと思います。少しでも「新生えくぼ元町」に貢献できるよう、頑張ります。



新リーダー：辻



てんや新道の名物!

# パークゴルフ100回達成!



今回はてんや新道の名物パークゴルフの利用を100回達成した利用者のNさんをご紹介します!  
Nさんは昨年の冬からてんや新道に通われ、春になり雪が溶けてパークゴルフ場が開放されてから今年の6月までの間になんと100回も活動されました!! Nさんの活動を表彰し、記念ボールと表彰状をプレゼントさせていただきました! おめでとうございます! Nさんはご自身の活動だけでなく、パークゴルフ場の手入れまで積極的にこなしてくださいます。

「ここまで盛大に表彰してくれると思っていなかったから嬉しい」とNさんは話されます。職員全員のサインが書かれている記念ボールは自宅で大切に飾られているそうです。

Nさんの活動を見てパークゴルフをされる利用者の方も増えてきています。どんどんパークゴルフの輪が広がっていつてもらえると嬉しいです。

次の目標は200回! とNさんは話されています。Nさんが200回達成されるのとは他の方が100回達成されるのはどちらが先になるのでしょうか! 楽しみです。(遠藤)



てんや新道パークゴルフ場



これからよろしくお祈いします!

## 昇格者の声



この度せんりで副ホーム長を務める事となりました。副ホームとして責任が大きい分やりがいも感じています。

入居者様の声に耳を傾け、ホーム長と介護職員双方の意見を橋渡しし、これまで以上に風通しの良い働きやすい環境をつくっていきたく思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

せんり: 副所長 佐藤



7月から、相談員兼リーダーを務めさせていただきます、今野と申します。

今回の昇格は、福本センター長を始め、私を支えて下さる皆様の期待があるからこそ感じております。

今後とも、ご指導の程宜しくお願い致します。

生きがい東雁来: 相談員兼リーダー 今野



7月よりサブリーダーを務めさせて頂く事になりました。入社して3年が過ぎ今田センター長、浅田さんに支えて頂きながらここまで来ることが出来ました。

これからも、てんや新道を活気溢れる、利用者様の笑顔いっぱいのデイサービスであり続けられるよう、より一層頑張りたいと思います。

てんや新道: サブリーダー 國京



7月1日付でリーダーを拝命いたしました、似鳥と申します。今回の昇格は本間ホーム長をはじめとした皆様からの日頃のご支援のおかげです。まだまだ若輩者のため行き届かない点もあるかと思ひます。皆様におかれましては、

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

せんり: リーダー 似鳥





# 朝礼でのステキなお話 特集

## 青島の久保田監督の言葉から学んだこと

今回は私の好きな野球のお話をさせていただきます。今まさに全国の高校球児たちが甲子園出場をかけて各地区で熱闘を繰り広げられています。その中で私が注目したのが東京にある青島特別支援学校（以下青島）です。青島には12名の野球部員がいます。地方予選に出場するための最低人数である9名を超え、史上初となる特別支援学校単独での出場となりました。知的障害を持つ球児たちを安全面などの関係から出場が認められなかった青島ですが、2021年に赴任された久保田監督が中心となり立ち上げた「甲子園夢プロジェクト」が今回結実しました。久保田監督は「危険に結びつきやすいものを生徒から遠ざけるときに『あぶないから』という慈悲深い言い訳が用いられますが、それは管理する側の都合である場合もあります。しっかりとした管理を行つたうえで、彼らが真剣に打ち込める環境を整備するのが私たちの仕事なのではないかと思うようになりました」と話されます。青島は予選に出場するも初戦コールド負けを喫しました。しかし、一つのアウトを全力で取りに行く姿、打席に立てばフルスイング。66対0と大量の点差があるにも関わらず、最後まであきらめないで大きな声を出し続ける姿に勇気と感動をもらいました。久保田監督の言葉は私たちの仕事にも通じるものがあると思います。利用者の支援の在り方を一度考え、日々の業務に取り組みしていきたいと思いました。（てんや新道：遠藤）

## 入院生活で気づくことができた当事者の気持ち

私は最近、人生で初めて手術と入院を経験しました。10日間の入院生活と手術を通じて学んだことや感じたことが3つありますので、この場を借りて伝えたいと思います。1つ目は、日常生活の10日間と入院生活の10日間が全く違うということです。手術後はベッドで生活することになり、特にすることもなく、ただ時間が過ぎるのをぼんやりと感じていました。しかし、時間はなかなか進まず、非常に長い入院生活でした。この体験を通じて、高齢者が入院生活で認知症になる可能性を実感しました。2つ目は、入院生活が思った以上に筋力・体力を低下させるということです。手術後は安静にするためにずっとベッドで過ごしましたが、いざ職場復帰すると手術した箇所の痛みよりも、筋力低下による腰の痛みと足の疲労感が強く、立っていることができなくなりました。加齢による筋力低下のある利用者が入院することは、私以上に大変だと感じました。3つ目は、介護される立場になると、言い表せないほどの申し訳ない気持ちになるということです。手術後の絶対安静中に便意を感じましたが、看護師に迷惑をかけると思い、ナースコールを押すことをためらってしまいました。結果的にトイレに行ったことで大量出血と激しい痛みが生じ、結局3人の看護師に対応してもらったことになりました。自分のせいで看護師に迷惑をかけた経験は、これからも忘れることはありません。今回の手術・入院の経験を通じて学んだことを活かし、利用者に寄り添った声かけや介護ができるよう、今後も努めていきたいと考えています。（エルパサ：新山）

## 障がい者に優しい街づくりを実感した旅行

6月に高齢の母親を連れて、茨城に住んでいるひ孫に会うことと、東京で行われた孫の結婚式に行つてきました。母親は足が不自由な為、空港は車椅子での移動でしたが、空港職員が車椅子を押しつけて飛行機まで押してくれた。機内は出入り口が近い前方の席に案内してくれたり、非常にサービスが行き届いており感激しました。茨城から東京の結婚式場に向かう際は電車での移動でしたが、車椅子を押しながらの乗車だった為、エレベーターや階段のないスロープの場所を確認しなければなりませんでしたが、思っていた以上にスムーズに乗車でき、電車も車椅子ごと乗れるスペースがあり、ストレスなく移動することができました。普段私は仕事では高齢の方と接する機会が多いのですが、移動はほとんど自動車なので、街を車椅子を押して移動する事はなく、バリアフリーやエレベーターや点字ブロックを意識する事は希薄でしたが、今回母との車椅子移動を通じて、空港職員の優しさに感動したり、障がい者に優しいまちづくりになっているかなどを障がい者目線で体現することができ、非常に勉強になった旅行でした。（エルパサ：松橋）

## 本町の卓球が利用者様の生きがいの1つに

卓球台が設置されて半年が経ち、昔に卓球をやっていた方や気になっていらっしゃる方が増え、本町は卓球ブームが到来です。卓球の時間を楽しみにされている利用者様が多くいらっしゃいます。その中の一人で、50年ぶりに卓球を再びやるようになり、毎回楽しみにデイへ来ている利用者がいます。50年ぶりとは思えない身のこなし方、身体が覚えている様子で、とても上手に打っていました。その利用者様が先日、何時間も掛かる肺の大手術をされました。手術は成功され、再開までしばらくかかると誰もが思っていました。なんと、退院された日に「明日からデイに行つてもいいですか」との連絡があり、翌日に再開される事になりました。術後間もないので、歩くたびに呼吸が辛そうな様子。休みながらの活動をしていましたが、午後の卓球の時間になると、卓球台の周りに来られ、参加する気満々。「大丈夫ですか？」の問いかけに「うん！これを楽しみにしてたから」と笑顔。傷口の事や、息切れが心配でしたが、そんな心配をよそに、卓球が始まってからは、球へまっしぐら！痛みも吹っ飛んでいるかのように球を打ち返していました。そんな、痛みも吹っ飛び、夢中にさせる卓球って素晴らしいな！とつくづく思いました。「卓球がこんなに楽しいと、昔は思わなかったから、こんな年になって、また出来た事が今の私の喜びなんです。ずっと動ける身体でいたい！」とお話されています。夢中にさせる何かをもっと他の利用者様にも提供でき、希望を持って生活出来るように、お手伝いをしていきたいです。（てんや本町：水谷）

夏  
の  
行事報告

「スナック夢」開店！

〈グループホーム夢〉



日頃の疲れも吹き飛んでいくスナック夢へようこそ……！

三枝子ママを筆頭に智恵子チーママ、ちよつと歳のいったホステスとホストにぴちぴちの外国から来たホストとホステスが経営する居酒屋のような「スナック夢」不定期の開店日を迎えました！

メニューは居酒屋だけど店名はスナック……ま、細かいことは抜きにしていつもと服装の違う職員を見てみなさまテレテレ♡

ホストにお酌をされるとノンアルでもとっても美味しいお酒に大変身！いつもは下を向いている方も今日はみんなの動きに釘付け！今回もみなさんたくくさん食べて飲みました！次回の不定期な開店日をお楽しみに（中島）

三枝子ママ



ホスト頑張ります！



居酒屋おつまみも沢山用意しました！



ノンアルでも気分は上々♪職員も一緒に楽しみました



〈うらら伏古〉

さとらんど外出レク

昨年引き続き、好評であった外出レク先へ行ってきました。サッポロさとらんどは、札幌市東区にある施設。正式名称は札幌市農業体験交流施設。「さとらんど」の名称は一般公募によってふる里の「さと」とランドの「らんど」を合わせた造語であり、市民に愛される里づくりを願って名づけられました。との事です。

午前午後の2班に分かれ、出発。数日前までは、あいにくの雨予報で心配もされましたが、当日は天候にも恵まれました。今回外出レクを担当した職員は、事前に2回も下見に行き、事前準備をしていました。動物へのエサやり体験を是非、入居者の皆様にもやってもらいたいと送迎中の車内でも盛り上がりを見せていました。到着後、園内を散策したり、SLバスにも乗車。炎天夏の中でしたので、水分補給を小まめに実施。アイスクリームも食べました。（午前中の方は時間が合わずでしたが）もちろん、動物へのエサやり体験も実施できました。所要時間1時間30分程、中にはまだまだ時間が足りなかった、もう少しあそこを見たかった等、楽しまれてる声の帰りの車内ではありました。

残念ながら、当日の体調等で不参加となってしまう方もいらつしやいましたが、今後も様々な企画を行っていきたいと思います。（広部）



暑かったのでアイスが美味しい～



エサやりも無事に楽しみました！



とってモ良い天気！





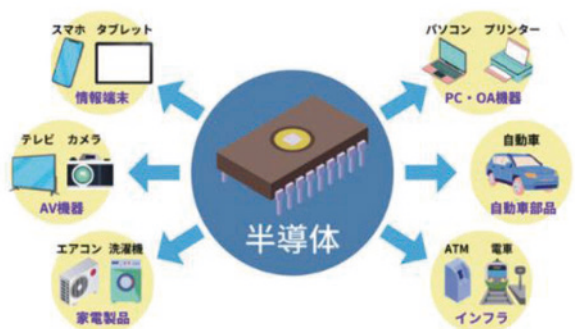
あつという間の一か月。やれやれ終わったと思つたら、追われるように考えるのですね。がんばります。

「ラピダス」についてです。難しいですが、研修会にも参加させていただいたので、私自身の整理のためにこのテーマに挑みます！新聞やテレビでも盛んに報じられるラピダス。千歳市で大掛かりな工事が進められ、2027年には2ナノ半導体の量産を目指しています。1ナノメートルは、1メートルの10億分の1。はて、どのくらい？2ナノの大きさは、人間のDNAの直径と同じサイズだそうです。うーん、要はとてつもなく小さい。それをどうするのでしょうか？果てしない話のようにも思いますが…

半導体には、電化製品やスマートフォン等々でお世話になっており、なくてはならない存在です。極小の2ナノ半導体が完成したら、車の自動運転の技術向上や携帯のバッテリーの寿命が4倍延びるとか、生活の利点がいっぱいあるらしいです。そして、人が集まり地域が元気になる★日本にとつても半導体産業復興のラストチャンス！と、国を上げていますね。先日岸田総理もいらしてました。本当にできるの?!と、懸念される記事も多くありますが、ここまでできたらできると信じ、頑張っていたくださましよう！自動運転が発達したら生活も大きく変わるでしょうね。色んな未来をワクワクと想像しながら、北海道民として応援したい気持ちです。

Semijournalよりラピダスでは、理系の若手育成が急がれるようです。よし、我が子も理系女子に!!でも小3娘が、数字の5を下から上に書いたのを見て、先日衝撃を受けたばかりでした。まずは数字の書き順から練習しなくては…前向きに★

(小林)



## 第106弾

# ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



ちょうど一年前、初めて植えてようやくやくなつた小さなイチゴの実をアリに食べられ落胆したことを書いた。一粒の実をつけて以来そのイチゴの苗は枯れ始め、もはや収穫不可能と思われたがとりあえず根は抜かずそのままにしておいた。ところが今年の夏なんとそのイチゴは復活した。青々としたつやのある葉っぱが育ち、つるをぐんぐん伸ばし、いくつかの小さな実がなつたのだ。だんだん赤みを増す可憐なイチゴちゃん。アリに狙われる前に食べなさいいけない。一番赤く熟したものを一つ摘んだ。まだ小さなその果実を味覚嗅覚を最大限に動員した妻と二人で縦半分にして味わってみた。小さいながらイチゴが持つ爽やかな甘味と酸味、形状や食感、独特で濃厚なイチゴ味を感じた脳はドーパミンを分泌し我々を幸福と感謝の感情へと誘う。

家庭菜園の良さは獲れたて新鮮でみずみずしいものが味わえることだろう。例えば胡瓜。表面の微細なとげとげが痛いし、切れればその断面から水分が湧き出るほどだ。茄子は焼きナスにすればほのかな甘みとともに皮まで美味しく頂ける。トマトは市販のものに比べ味も濃く強い。いずれにしても自分が手塩にかけてたという愛着があるから美味しく感じるのだろう。

我が家の庭には植えた覚えのない花が咲くことがある。数年前はソバの花がたくさん咲いた。背が伸びて白く小さな花をつける。何故こんなものが生えてきたのか。これは我が家でエサやりしている野鳥のエサのなかにソバの種が入っていたからだと判明した。エサ台から落ちた種が発芽し成長し花を咲かせたのだ。どうせならソバを打てるほど収量があれば良かったが面積的に無理だ。

やはり数年前初めて咲いたバーベナという花。頼りないほどほっそりして背丈が高く、そこに小さく控えめな紫の花が咲く。決して派手ではないが高貴感が漂う。強い花なのだろう、レンガの隙間などからも芽吹いている。種が拡散したのか毎年咲くようになった。年ごとに数も増えている。去年突然咲いたのが忘れな草でこちらは小さな青い花をいくつも咲かせる。こじんまりとしたたすまいが可愛い。やはり今年も庭のあちこちに咲いたし増えている。そして今年度初めて咲いたのが菜の花だ。最初見たことのない葉が広範囲に生えてきて調べたところカラシ菜や高菜じゃないかということだった。どっちにしても食べられるではないか。アイヌネギとイヌサフランを混同してえらいことになってしまふ例もあるが、これをさつと茹でて慎重に口の中に入れてみた。山菜のようなほのかな苦味が美味しかった。ずいぶん獲ったが食べきれないので放っておいたら成長し背丈も伸び小さな黄色い花を咲かせた。改めて調べてみたら菜の花だった。美味しいはずだ。これもやはり野鳥のエサに菜種として入っていたのか？野鳥のお腹を満たし庭にも恵みをもたらす優れものだな、野鳥のエサは。

正にイチゴイチエの出会いだった去年のイチゴ。今年はイチゴヒャクエの夢を、サンキョーストロベリーマツチ!...とほほ。(蓮川)



# 人間万事塞翁が馬

Sさんは8人兄妹（5男3女）の長女として生まれました。その頃は戦時中でお父様は、木炭バスに使う炭焼きと言う国からの仕事を請負って、家族を養っていたそうです。終戦になると、郵便局と農業の今で言う二刀流で、夏は暑く冬は極寒の常呂町で生活していました。学校を卒業後は、いなぎびや豆、ビート、ハッパ等を作る実家のお手伝いをしていましたが、Sさんが20歳の頃、お父様が癌で亡くなってしまいました。お兄さん達は地方の炭鉱で働いており、継ぐ兄妹もいなかったため農家を辞めてしまったそうです。その後、常呂町のある木工所で働き、Sさんは社宅へ、お母様と下の兄妹は近くのアパートへ引っ越し、お母様も木工関係の仕事に就きました。その頃、ご縁があって、旦那さんと結婚され、1男1女にも恵まれ順風満帆の中、Sさんが23歳の時に一大決心し、家族で小樽へ引っ越しました。そこでも同じ木工の仕事に就くことができ、二人で家計を支え幸せな生活を送っていたそうです。



常呂町生まれ

Sさん  
2024.7現在  
82歳

似顔絵作：松田 郁美

そうです。それを機に、Sさん家族も小樽から石狩の花川へ引っ越しし、二人を支えました。石狩では、夫婦で今までやってきた木工の仕事とは別のガスの配達員をして家計を支えました。慣れない仕事で最初は苦労されましたが、軌道に乗ると面白くなり、「自分達でも仕事がしたい」と一念発起をし、35歳の頃、旦那さんとガスの配管屋を立ち上げました。いろいろ苦労もあつたようですが、事業も波に乗り、これからと言う時に、家庭の事情により、Sさんは家を出たそうです。小さいお子さんとは離れてしまいましたが、定期的に交流できたので問題はなかったと言います。

その後、Sさんは病院の厨房で長いこと働くことができ、50歳の時、長女さんが結婚をし、子供が誕生したのを機に今のお住まいで同居を始めたそうです。そして55歳で病院での勤務が定年を迎え、時間に余裕が出来たことと、お孫さんの子守が生きがいになったと言います。例えば、「長女の孫が、高校の演劇部で大会があると、見に行ったり、長男の孫がサッカーで全道大会に出場すると、よく応援に行ったりしたもんだよ」と満面の笑顔で話して下さいました。今でも、ラインのテレビ電話やメールで、近況報告したり、何が食べたいか聞いたり、とてもお孫さん思いの優しいお祖母ちゃんなのです。

波乱万丈の人生を歩んできたSさんですが、これからの夢を尋ねると、「ひ孫の成長を見届けること」と「ボケないで死ぬことかなあ」と冗談交じりに話して下さいました。そして「今の社会では、これからの子供の将来が心配だ！」と嘆いていました。そんなSさんは、老人クラブではダンスを踊ったり、デイサービスでは厨房や庭いじりを手伝ったりと、活動的でとても素敵な利用者さんです（確）！（てんやわんや東苗穂 恵本）

## 夏の行事報告

### 第2弾ミニライブ開催！

〈おさんぽカフェ〉

7月27日（土）第二弾ミニライブ開催しました！4月に行ったライブが思いのほか好評で第二弾を企画！観客総員数は前回とあわせて80名ほど。バンドメンバーは、輝楽 蓮川夫妻（パーカッション&キーボード）、デイトレ横川セリナ（ボーカル）、手前味噌ですが私の息子（ボーカル&ギター）で全10曲 披露していただきました。

曲目は前回の反省も踏まえ、バンドメンバーで選曲。ちょっと古めのポップスを中心に演奏。大いに盛り上がりました。動画を載せられないのがとても残念。本場のライブハウスにも劣らない盛況ぶりでした。オープニングは銀河鉄道999、アップテンポの乗りの良い曲でスタート、手拍子が自然発生し、つかみはOKでした。その後は桑田圭祐、玉置浩二など往年のスターのヒット曲、朝ドラの主題歌などお客様もどこかで聞いたことがある曲で思い思いに口ずさんでいましたよ。最後は私も大好きな

Mr. childrenのナンバーで締めくくりました。お客様からお決まりではありませんがアンコールが飛び、3曲追加で演奏。参加された皆様もとても楽しかったと大変満足されたようでした。今回有志でてんやわんやの職員の方が譜面起こし、私の利用者様の息子様で昔音響関係の仕事をしていた縁でPAをかってでてくれるなど本格的なライブイベントになりました。皆様のご協力に感謝感謝でございます。

バンドメンバー全員、今回のライブに向けてアンプを新調したそうなのでこれからもこの企画続けていきたいと思っております！！（おさんぽカフェ 菅原）



大盛り上がりのライブでした！



# 7月行事内容と8月行事予定



## 令和6年8月行事予定

## 令和6年7月行事内容とイベント風景

令和6年 8月行事予定

令和6年 7月行事内容とイベント風景

せんり  
○DTセッション

うらら伏古  
○7/10(水)：予備日  
○7/17(水)～さとらんどへ  
外出予定。

えくぼ東雁来&  
ココ東雁来式番館  
○金さん銀さん（訪問理容）  
○果物訪問販売

えくぼ元町&  
ココ元町  
○8月某日  
「ちょっとだけ夏を感じよう」

えくぼ元町式番館  
○18(日) 元町式番館盆踊り

銭函お散歩カフェ  
○趣味の会  
○認知症カフェ～  
オレンジかふえ  
○スズキアリーナ  
チャリティーイベント

ココ輝楽  
○外出レク  
○七夕まつり  
○誕生会

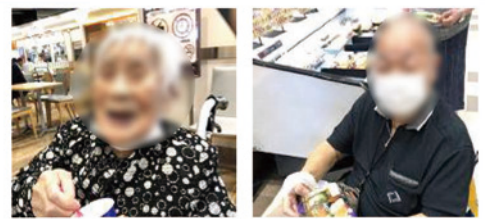
○誕生会  
○異文化交流



○日常の体操風景  
○買物外出



○イオンでお買い物を楽しもう(外出レク)



○7月・8月誕生者  
○えくぼ農園開墾



○パークゴルフ・蒸しパン作り



○趣味の会 ○高等支援学校見学会 ○ミニライブ第2弾



○出張カフェ ○衣料販売 ○誕生会



## 経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。